

民報 ゆうばり

みんなの力で地域をつくる

コロナ禍を乗り越え春のイベント続々と♪

映画上映会「みんなの学校」

夕張市教育委員会主催、夕張市青少年育成協議会と学校運営協議会共催の映画上映会が、5月12日(金)、13日(土)と2日間、にわたり開催されました。市民が参加しやすいように時間を午前と午後に分けた全3回の上映に、合計約150名の来場がありました。

どんな子でも安心して来られる学校に

舞台は大阪市立大空小学校。不登校も特別支援学級もない、同じ教室と一緒に学ぶ学校づくりにチャレンジする姿を追っ

たドキュメンタリー映画です。すぐに教室を飛び出してしまおう子も、つい友達に暴力をふるってしまおう子もみんなで見守ります。「どんな子でも安心してこられるのが地域の学校のはず」と校長先生。やがてほかの学校へ次々と大空小学校に転校してくるようになりました。子ども達のどんな

学校が変われば地域が変わる!

状況もそれぞれの個性だと捉えることは簡単ではありません

が、同じ思いで保護者や地域の人も積極的に学校と関わります。一緒に過ごすことで抱える問題を思いやる力が自然に養われていきます。

学びやすい環境ってなんだらう?

安心して話せる、どんな自分でも受け入れてくれる人がいる、その土台がある。初めてじっくりと学習ができます。参加者からは「生き生きとした大阪弁が温かく、校長先生の膝の上に男の子が普通に座っていて微笑ましかった。こんな学校が沢山あるといいなあと感じました。」と感激の声です。すべての子どもに居場所がある学校をみんなのでつくる、学びやすい環境を整えるためのヒントを教えてください。映画でし



MASAKOさんと大山さんの共演

として活動を開始。現在は南こうせつさんや大黒摩季さんなどのレコーディング、ツアーサポートをされています。「夕張のために何かできないかと市長さんに手紙を書いたら、MASAKOさんを紹介くださり、繋がることができました。」と大山さん。さっそく夕張の歌姫 MASAKO さんも登場し、「夕張のうた」の伴奏が流れると会場の子とも達も

「春のピアノまつり」野外ミニコンサート

5月14日(日)ゆらばり共生型ファームらぶらす(旧夕張小学校)で春のピアノまつり

市内の物づくり作家、タ張クラフトをはじめとする出店も並び、Tシャツやトレーナー、お菓子、地物イチゴ、コーヒーなどの販売も盛況です。

夕張出身のピアニスト 大山泰輝さん演奏

大山泰輝さんは9歳からピアノを始め、1993年からプロ

集まり、元気な歌声が使われたピアノは夕張第一小学校のPTAから寄贈され、今まで放置されていたそうです。

驚くほど良い音だと絶賛されていました。それをぜひまた、夕張の子ども達に聴いてほしいという思いからの企画。

晴れ渡る空の下、風の音、鳥の鳴き声、子どもの笑い声が響く中での演奏会はとてもおらかな空気に包まれていました。最後に観客から黄色いハンカチの寄せ書きが送られ、あたたかい拍手で終演となりました。



夕張クラフトのグッズ販売

紅葉山パークゴルフ場 営業中！ 第一回市民大会に30名が集う！



ラッキー賞・ブービー賞・ホールインワン賞もあり、参加者は皆満足そうでした。市民大会は、10月まで毎月計七回開催が予定されています。

紅葉山パークゴルフ場が5月1日から営業を開始しました。夕張川の河川敷にあり、木々に囲まれた起伏のあるコースが楽しい同パークゴルフ場。待ちわびた愛好家たちがプレーを楽しんでいます。第一回市民大会の5月20日は、快晴の絶好の日より。30名の参加者が真剣かつ、笑顔で競い合いました。第一位から三位までの賞品、参加賞や



「今年は夕張高校生が探究学習として、利用を計画しており、若い皆さんもパークゴルフに興味をもつてくれています。市民の皆さん、今年もパークゴルフを大いにやっつて、健康を増進させましょう」(更谷正博紅葉山PG場を守る市民の会長)

紅葉山パークゴルフ場は、十月末まで、荒天の日を除く毎日営業を行っています。



桜井あきの
ポカポカ日記
夕張市議会議員 桜井あき
LINE



我が家にも連合町内会からの「4年ぶりにお祭り行事を行います」と書かれたお便りが届きました。久しぶりの響きに、子どもをおんぶして練り歩いた頃を思い出します。朝早く役員さんが長女、長男をお迎えに来てくださり助かったなあ。その子達ももう成人を過ぎました。今回は末娘と共にお手伝いへ。

参加者が少ないかと思っていたら神輿入魂にはたくさんの子びつ子達がつめかけ、わあ！こんな！と感動☆大きな子が逆に少なく、私も賽銭箱運びをするに。けこう重い！責任重大、何事も経験しないとわかりませんね。

翌日は夕張神社祭で夕張太鼓の巡演も久々に。勇壮な音色が山並にこだまして何とも言えない高揚感です。季節を感じる大切な行事が当たり前にできることの幸せをかみしめました。

季節といえば、すぐりメロン！漬物にも炒め物にも美味しい夕張の貴重な名産品です。中華風あんかけもおすすめ♪大事な資源を生かしていきたいですね。



二人一組で担ぎます



わっしょいわっしょい



すぐり=メロンの赤ちゃん



紙智子「国会かけある記」
参議院議員
紙智子

いのちと暮らしを守る宝の議席

久しぶりに仙台に行き、宮城野区の党と後援会のつどいに参加しました。

仙台市議選は7月、宮城県議選は10月です。東日本大震災で選挙の日程を遅らせたからです。高見のり子市議は4期16年、住民とともに「人と人をつなぐ安全・安心のまちづくり」に取り組みました。震災の時には自転車で、被災者支援に走り回りました。乗り合いタクシーの実現や子ども食堂の取り組み、復興公営住宅の家賃減免を5年から10年に継続させるなど、住民の願いを実現してきました。

大内真理県議は、震災当時1歳6ヶ月だった息子さんを胸に抱き「子どもたちに負の遺産はのこせない」との思いで、ホームレスの方々への炊き出し支援やフラワーデモ、脱原発の金曜デモなどに参加。出会った皆さんの「困った」を受け止め、苦難解決に取り組んで来ました。今度は三期目の挑戦です。

つどい後の懇談では、震災から12年、地域の皆さんとともに乗り越えてきた二人への信頼、絆の強さを感じました。しかし、油断はできません。

大軍拡に復興予算を流用し、原発回帰の悪法などを矢継ぎ早に推し進める岸田政権への怒りと、戦争する国づくりは絶対に許さない思いとともに、住民のいのちと暮らしを守る日本共産党の宝の議席、その値打ちを語って、必ず勝利しようと呼び合う場となりました。参議院は重要法案のまっただ中、世論と運動を力に私も国会論戦に頑張ります。